

# 平成22年度第1回 福岡市立学校給食運営検討委員会 議事録

## 1 開催概況

(1) 日 時：平成22年11月12日（金） 14:00～16:00

(2) 場 所：福岡市教育センター 303研修室

(3) 出席委員：秀平キヨミ委員長

宗像壽子委員，松田瑞恵委員，新飼恵子委員，函師不二子委員

杉山大樹委員，増川郁子委員，中村かず子委員，祐成典子委員

井上真理子委員，中畑和子委員

池田一司委員

〆野忠雄委員，西村孝志委員（以上14名）

(4) 事務局：8名

## 2 議事録（要旨）

(1) 議題1：学校給食費の収納状況について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し，特に意見等はなかった。

(2) 議題2：PEN食器の環境ホルモン検査結果について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し，特に意見等はなかった。

(3) 議題3：中学校給食コンテストの結果について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し，特に意見等はなかった。

(4) 議題4：学校給食センター再整備基本構想について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し、次のような意見が表明された。

- ・ センター再整備に伴い個別食器を導入するとなっているが、食器がPEN樹脂食器というのは決定事項なのか。
- ・ 強化磁器食器の方が食育上は好ましいと思うが、食器自体が非常に重いことや食器破損時の危険性等の安全面には非常に気を遣うことを考えると、PEN樹脂食器の方がいいと思う。
- ・ 保護者からすると個別食器になることは非常にいいことである。強化磁器食器が安全面で気を遣うというのも分かるが、割れるから大切にするという面もあるのかなと思うが。
- ・ 仮に調理部門まで民間委託となった場合は市の栄養士と民間との関係はどのようなになるのか。
- ・ 旧センターから新センターへの移行期は福岡市内で新旧センターが混在している状況となるが、その期間中はセンター毎で異なる対応となるのか。
- ・ 献立作成、栄養管理、アレルギー対応は市が担保すべき機能であり、重要な業務なので、きちんとした対応をして欲しい。
- ・ 提供食具について、小学校では箸のみを児童に持参させ、スプーン・フォークを献立に応じて提供している。中学校も小学校と同じが望ましいのでは。小学校、中学校で継続的に指導をすることが大切である。
- ・ ナフキンは毎日持参することになるので箸は持参で問題ないと思う。
- ・ 全ての学校について、一律にすべての食具を持参させるというのは厳しいので、箸のみを持参とする案が現場としては対応しやすいと思う。学校現場としては学校毎・学年毎・学級毎に状況が異なるので柔軟に対応出来るような体制を考えて欲しい。

ウ 以上の意見を踏まえて、事務局から

- ・ センター再整備に伴う個別食器の選定については『福岡市学校給食センター基本構想策定委員会』で議論を重ねた結果、PEN樹脂食器を前提に検討することになったものである。
- ・ センター再整備については、アレルギー対応等の市が担保すべき機能について最大限に配慮しながら引き続き検討していく。
- ・ 民間調理に変わった場合でも市の栄養士との関係は現在の公社調理と基本的に変わるものではない。
- ・ 移行期におけるセンター毎の異なる対応については、「(仮称)第1給食セン

ター整備計画検討委員会」においては理解は得られるだろうという意見であったし、そのように考えている。

- ・ 提供食具については、今回委員の皆様からいただいた意見を踏まえ、後日行われる『(仮称)第1給食センター整備計画検討委員会』に諮り、最終的に決定していきたい。
- ・ という説明等があり、委員一同了承した。

(5) 議題5：学校給食費改定の考え方について

ア 配布資料に基づいて事務局から今回は改定の方向性を定めたいとの説明があった。

また、事務局より主食単価を抑えるため、平成23年度より特殊パンのうち高価な種類のパンの提供回数を減らし、添え物（ジャム・マーガリン等）付きの基準パン（食パン・コッペパン）に変更したい旨の提案があった。

イ 事務局の説明に対し、次のような意見が表明された。

- ・ 前回のこの委員会で値上げをしてもよいという話になったと思うが、また一からやり直しということか。それとも前回までの議論の結果があって、改定の目安を議論しようとしているのか。
- ・ 今回より新たに委員になられた方は前回までの経緯がよく分からないので、その辺りを整理してもらわないと次の議論に入れられないのでは。
- ・ 献立管理委員会等では現場の栄養士の努力による工夫がたくさんあり、保護者としては非常に感謝している。保護者としてもそのような現状を知れば値上げについての理解を得られると思うのだが。
- ・ 栄養士としては基準パンであっても添え物付きであれば食べ残しも少ないので対応出来ると思う。限られた食材料費の中で献立を作成しなければならないため、パンの変更を含め、工夫をしていく必要はあると思う。
- ・ 現行では『福岡市消費者物価指数（食料）の概ね10%程度上昇』が改定時期の目安となっているが、給食物資は基本的に国産品であり、地産地消の関係から可能な限り市内産・県内産を選定し、また、大量調理に対応するような統一の規格品を発注する必要があるため、家庭用とは一線を画しており、消費者物価指数で判断するのは馴染まないのではないかと。
- ・ 給食物資の特性を考えると、消費者物価指数とはリンクしていないのは明らかであるように思える。その辺りを説明出来るような資料の作成をお願いしたい。
- ・ 給食費を取り巻く状況が厳しいのは理解出来るが、子ども達にとって何が必要なのかという視点で考えて欲しい。

ウ 以上の意見を踏まえて、事務局から

「今回議題に挙げさせてもらったのは、前回までの議論を踏まえて、まず給食費改定についての視点を整理し、改定するにあたっての基準を策定したいと考えているためである。今回委員の皆様方からいただいたご意見を踏まえ、これまでの議論と考え方を整理した資料を作成するので、次回の会議で議論していただきたい。」

という提案があり、委員一同了承した。

### 3 その他

#### (1) 配膳時間について

ア 事務局から資料「給食（おかず）温度の経時変化測定結果」の説明と配膳時間の短縮の重要性について口頭にて説明があった。

イ 事務局の説明に対し、次のような意見が表明された。

- ・ 学校給食センターを再整備するにあたっては配膳時間、喫食時間の確保をお願いしたい。学校を急がせるような時間設定はしないで欲しい。

ウ 以上の意見を踏まえて、事務局から

「現状でも給食時間終了後30分経過してからしか配送車は出発しないように時間設定はしているし、平成20年度より各学校に対しても時間を通知し、周知をはかっている。

学校給食センター再整備をするにあたってはこれまでと変わらず学校を急がせるような時間設定は行わず、喫食時間の確保に努めていく。」

という説明があり、委員一同了承した。

#### (2) 中学校の喫食時間について

ア 事務局から給食時間の現状及び喫食時間確保のための工夫について口頭にて説明があった。

イ 事務局の説明に対し、特に意見等はなかった。

#### 次回の会議日程

委員長から、1月以降の開催とすることの提案がなされ、委員一同了承した。なお、詳細については、別途通知することとされた。